

授業科目名	しつけ・トレーニング実習Ⅱ		科目コード	2303032	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグ インストラクターコース	学 年	2年
担当教員	改井宣隆				
	実務経験教員（有・ <input type="checkbox"/> 無） 実務経験内容				
開講時期	前期・後期・ <input type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	186時間	
	<input type="checkbox"/> 必須・ <input type="checkbox"/> 選択・ <input type="checkbox"/> 選択必須		単位数	5単位	
使用 テキスト1	書名	室内犬の飼い方・しつけ方			
	著者	矢崎潤（監修）			
	出版社	株式会社 ナツメ社			
使用 テキスト2	書名				
	著者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義・演習・ <input type="checkbox"/> 実習				
<p><授業の目的・目標> より実践的な犬のトレーニング法を学ぶことで、就職後にトレーナーとして活躍できるような素養を身に着ける。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 「しつけ・トレーニング実習Ⅰ」で実践した内容を踏まえながら、学外実習での反省や介在活動に参加するなどの経験を積みながら、トレーニングの内容を改善し、最終的に成果を報告できるようにする。</p>					
<p><成績基準・評価基準> 実習評価レポートの提出、出席率、実習中の取り組み方で評価する。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					
<p><関連科目他> しつけ・トレーニング実習Ⅰ 動物行動学Ⅰ・Ⅱ</p>					

授業科目名		しつけ・トレーニング実習Ⅱ	
回	授 業 内 容	備 考	
1	2年次の説明	6時間／1回	
2	与えられた内容で犬をトレーニングする		
3	与えられた内容で犬をトレーニングする		
4	与えられた内容で犬をトレーニングする		
5	トレーニングの振り返り・経過報告		
6	与えられた内容で犬をトレーニングする		
7	与えられた内容で犬をトレーニングする		
8	与えられた内容で犬をトレーニングする		
9	トレーニング成果発表		
10	問題行動と言われる行動の対処・トレーニング法		
11	問題行動改善トレーニング 説明・班決め		
12	問題行動改善トレーニング		
13	問題行動改善トレーニング		
14	問題行動改善トレーニング		
15	問題行動改善トレーニング		
16	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
17	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
18	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
19	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
20	トレーニングの振り返り・経過報告		
21	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
22	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
23	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
24	自分たちで計画を立て犬のトレーニング		
25	トレーニング成果発表		
26	模擬しつけ教室 準備・練習		
27	模擬しつけ教室 準備・練習		
28	模擬しつけ教室 準備・練習		
29	模擬しつけ教室 準備・練習		
30	模擬しつけ教室 準備・練習		
31	模擬しつけ教室		